

# 全国商品取引所出来高

## 9月、金、ゴム、コーヒー急増

全国商品取引所の9月の出来高は前年同月比約24%減と低調だったが、その中で金が同43.5%増えて前月のランキング2位から1位に復帰した。東工取のゴムも急増が続き、8月の前年同月比9.8倍に続いて同6.6倍。東穀取のロブスタ種コーヒー生豆も伸びて62%増。

一方、ガソリン、灯油は東工取、中部商取とも30～60%減。とうもろこし、銀、アルミニウムも高い不振。7取引所の1～9月累計出来高は前年同期比25%減だった。

商品別・取引所別出来高順位表(単位:枚・%,平成17年9月)

順位	商品名	取引所名	出来高	平成16年9月	前年比	前年度同月順位	順位UP/DOWN
1	金	東工取	1,730,369	1,205,483	143.5	③	▲
2	ガソリン	〃	1,410,139	2,236,358	63.0	①	▼
3	ガソリン	中部取	1,151,188	1,665,916	69.1	②	▼
4	Non-GMO大豆	東穀取	830,695	885,417	93.8	⑦	▲
5	ゴム	東工取	669,308	101,455	659.7	⑭	▲
6	灯油	中部取	624,129	1,109,130	56.2	⑤	▼
7	白金	東工取	589,783	1,001,064	58.9	⑥	▼
8	灯油	〃	428,731	1,141,684	37.5	④	▼
9	アラビカコーヒー生豆	東穀取	308,940	338,365	91.3	⑨	→
10	とうもろこし	〃	305,090	468,444	65.1	⑧	▼
11	原油	東工取	177,124	171,591	103.2	⑪	→
12	一般大豆	東穀取	147,782	153,922	96.0	⑫	→
13	小豆	〃	68,388	35,220	194.1	⑳	▲
14	銀	東工取	56,716	96,581	58.7	⑮	▼
15	ゴム(RSS3)	大阪取	43,058	42,413	101.5	⑳	▲
16	ロブスタ種コーヒー生豆	東穀取	37,866	23,317	162.3	㉑	▲
17	粗糖	〃	27,347	25,338	107.9	㉒	▲
18	とうもろこし	福岡取	26,588	185,132	14.3	⑩	▼
19	冷凍えび	関西取	24,282	113,062	21.4	⑬	▼
20	ゴム指数	大阪取	20,570	44,869	45.8	㉓	→
21	パラジウム	東工取	15,564	18,436	84.4	㉔	▲
22	アルミニウム	大阪取	14,531	87,266	16.6	⑯	▼
23	アルミニウム	東工取	13,447	16,089	83.5	㉕	▲
24	コーヒー指数	関西取	11,646	54,208	21.4	⑱	▼
25	ゴム(TSR20)	大阪取	7,407	41,749	17.7	㉖	→
26	Non-GMO大豆	福岡取	6,424	17,724	36.2	㉗	▲
27	日本生糸	横浜取	4,356	8,688	50.1	㉘	▲
28	野菜	〃	3,786	—	—	—	—
29	国際穀物等指数	関西取	3,458	21,167	16.3	㉙	▼
30	鶏卵	中部取	2,517	51,575	4.8	⑲	▼
31	Non-GMO大豆	関西取	2,024	16,929	11.9	㉚	▼
32	ニッケル	大阪取	938	28,896	3.2	㉛	▼
33	軽油	中部取	796	13,963	5.7	㉜	▼
34	大豆ミール	福岡取	720	2,445	29.4	㉝	▲
35	小豆	関西取	717	915	78.3	㉞	▲
36	大豆ミール	東穀取	707	2,275	31.0	㉟	▲
37	プロイラー	福岡取	618	1,001	61.7	㊱	▲
38	粗糖	関西取	600	759	79.0	㊲	▲
39	じゃがいも	横浜取	489	78,813	0.6	⑰	▼
40	IOM一般大豆	福岡取	482	2,550	18.9	㊳	▼
41	生糸	関西取	478	556	85.9	㊴	▲
42	精糖	東穀取	234	234	100.0	㊵	→
43	精糖	関西取	234	234	100.0	㊶	→
44	精糖	福岡取	117	117	100.0	㊷	→
45	軽油	東工取	19	11,687	0.1	㊸	▼
合計			8,770,402	11,524,200	76.1		▼

### 取引所別出来高

(単位:枚・%)

取引所	平成17年9月(A)	前年同月計(B)	A/B	平成17年1～9月(C)	前年同期累計(D)	C/D
東工取	5,091,200	6,000,428	84.8	42,160,832	58,762,725	71.7
中部取	1,778,630	2,840,584	62.6	18,255,658	24,326,733	75.0
東穀取	1,727,049	1,932,532	89.4	20,170,671	20,286,246	99.4
大阪取	86,504	245,193	35.3	1,332,548	3,113,995	42.8
関西取	43,439	207,830	20.9	848,535	1,970,097	43.1
福岡取	34,949	209,545	16.7	787,947	2,455,497	32.1
横浜取	8,631	88,088	9.8	349,040	893,015	39.1
合計	8,770,402	11,524,200	76.1	83,905,231	111,808,308	75.0

[社]全国商品取引所連合会調べ

### 先物協会が9月13日の理事会で了承した「広報活動方針」は次のとおり。

- 先物知識の普及(社会教育)**  
一般国民が、自分自身で取引に参加するかしないかを判断できる環境を作るため、広く社会に向けて商品先物取引についての啓蒙活動を継続的・積極的に行う。  
① 商品先物取引に関する知識(リスク性、レバレッジ性の認識等)の普及により、一般国民の自立性と自衛力を向上(不招請勧誘の禁止等の過度な営業規制の導入を抑制)  
② 公益性の高い機関(商品取引所、主務省)が前面に出て啓蒙活動を展開(取引所役員会の広報委員会への参画)
- 国民生活における商品価格の定着**  
商品の価格が国民生活にどのように関連しているかについて、具体的、かつ、わかりやすく啓蒙する。  
① マスコミによる報道・解説  
② 協会・取引所・主務省による啓蒙
- 協会広報事業への会員の積極的参加**  
協会の行う広報事業に会員役員会の積極的な参画を促進する。  
① 会員のブース出展、講師派遣等によるタイアップ・セミナーの開催  
② 広報実施委員会の専門性・企画力の向上

# 分かりやすい言葉で呼び掛ける

## 商品先物の面白さを伝えてほしい

### 犬嶋隆広報委員長に聞く

7月に先物協会の広報委員長に就任した犬嶋隆・ひまわりCX会長は、業界大変革の時期に先物協会事業の大きな柱である広報活動の重責を担うことになった。9月の理事会で「今後の広報活動の進め方」(下記の別掲参照)も了承された。同氏は、「どんな商売でもユーザーの目線に合わせる事が大切。分かりやすい言葉で世の中に呼び掛けていきたい」と張り切っている。そこで、重要業務に取り組み姿勢や考え方を聞いた。



#### 業界の存否にかかわる

大変な時に重要な役割を務められます。  
犬嶋 大きく変わっていく商品先物業界の姿を正しく、広く社会に知ってもらわなければならない。今、会員がしている大変な苦労が無意味になってしまっています。広報は業界の存否にもかかわる重要な役割だと考えています。これまで業界を愛して下さっているお客様や商品取引員各社の若い人たちのいい意見も十分に聞いていきたい

#### 価格指標としての定着を

国民生活にとって、商品先物取引はまだ特殊な世界だと思われています。日経平均株価や為替レートはニュース等で頻りに報道され、大体の水準をほとんどの人が知っています。商品もそうなることを目指して、努力していきたい。会員の広報担当者や若い世代に企画に参加してもらって、その意見やアイデアを積極的に活用します。また、会員とタイアップしてセミナーなども積極的に行っていきます。

#### ターゲットと目的を明確に

どのような特色を出されますか。  
犬嶋 予算や人材などリソース(資源)には限りがある。最大の効果が得られるよう、費用対効果の検証なども必要でしょう。  
私個人の見解としては、①広報活動のターゲットと目的を明確にする②商品先物の面白さをPR③各社による広報活動の支援(会員広報担当者向け勉強会など)④証券広報センターのような仕組みをつくる  
様々な情報を発信する  
対象を絞った中でブームを

#### 対象を絞った中でブームを

業界に対するマイナスイメージをどうしたら払拭できるのでしょうか。  
犬嶋 商品先物市場は社会的な重要性が増してきている。正しい姿、面白さを地道に継続して知らせていくことが肝要です。例えば、楽天、ライブドア、HS証券による参入をみれば、業界の外ではマイナスイメージはなく、将来性のある業界と捉えているのではないのでしょうか。私たちも自信を持って広報していきます。

#### どの業者も恩恵を受ける

商品取引員の業態、兼業、規模など大きく変わっていきそうです。協会としての一本化した広報活動が難しくありませんか。  
犬嶋 商品先物への関心が高まり、市場が拡大すれば、どの業者にも恩恵があるはず。そうしたご理解をいただけるよう努力するの私の役割です。  
狭い視野にとらわれずに、中長期的な戦略をもった広報活動を行っていくべきと考えています。IT企業の参入、ネット取引の普及などからして、今が業界にとってのチャンスです。啓蒙(無知な状態を啓蒙して教えること)と広報(広く知らせること)のバランスも十分に配慮していきたい。

#### 「1面のつづき」

「1面のつづき」の考え方を提案できる根拠となりうる。  
⑤取引員業務以外の業務を営まない商品取引専門の取引員においても、今回の新たな選択肢を用意することにより、新たな不利を受けることはない(中立的選択肢である)。  
②委託取引において取引員の役員による違法・不法行為の介在する余地のない取引員について、商品取引責任準備金の積立対象としないこと。  
①インターネット取引等の電子取引においては、役員等の違法・不法が介在したトラブルは皆無であること。「電子取引等に関する調査」において、過去に損害賠償した事例が3件あった。これは、いずれもネット取引立ち上げ時のものであり、システムダウンによるもの、東

#### 責任準備金は委託者優

先弁済権の付与されたものではないために、倒産時には、一般債権との相殺を免れない性格のものであるが、平常時の積立については、恣意的な取崩しがないよう、自主規制機関の監視が行き届くようにする必要はある。  
(純資産額規制比率の状況、業務の状況等により、必要とされる会員にあっては、日商協等を信託管理人とする「信託口座積立」等を義務付ける。)

#### 京工業品取引所の「ストップリミット注文」について委託者が誤解してトラブルとな

ったもの、板あわせ取引の寄り付きでの注文が間に合わずザラバ時間帯に注文が成立したこと等の初歩的なミスによるものであった。現在は、受託契約時に、損害賠償に係る免責事項として対応し損害賠償が発生しないよう手当てがなされている。